

竹の子だより



第114号 平成31年1月26日(土)発行
発行責任者 坂井 正志
編集 明星会広報委員会
発行 社会福祉法人 明星会

書き初め



駅伝応援



初詣



もちつき

【住所】〒250-0052 神奈川県小田原市府川 752-5 【TEL】 0465-32-7740 【FAX】 0465-32-7741
【E-mail】 info@takenokogakuen.jp 【HP】 http://myoujoukai.org
【事業】 竹の子学園 竹の子ケアセンター パン工房ハッピー 竹の子ホーム
相談支援センターエール 相談支援センターりあん(足柄上地区委託障害者相談支援事業所)
放課後等デイサービスぽっぷ ハッピー・ONE・STEP

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。

ボランティア募集

明星会では、行事や利用者様の日常生活に携わるボランティアをしてくださる方を定期的に募集しています。
ご興味のある方は、QRコードを読み取って頂くか、担当者までご連絡をお願いいたします。
担当：寺嶋・奥津 TEL 0465-32-7740

明星会HP



竹の子学園

模擬店でたくさん食べました!



沢山の人で賑わいました。



親子でリース作り♪



うまい!!



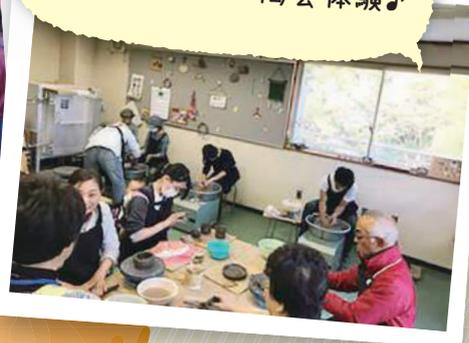
とびっきりの笑顔♪



第23回 竹の子祭

平成30年11月23日

何かできるかな～陶芸体験♪



綺麗な歌声、春蝶さん～♪



おいしいパンがたくさん!!



利用者さんたちの力作勢揃い☆



初出店の餃子屋さんや和菓子屋さん、沢山の模擬店、歌手のステージ、カラオケ大会などなど盛りだくさんの竹の子祭! 天気にも恵まれ、無事に第23回竹の子祭を開催することができました。地域の方やボランティアの方、ご協力くださった皆様に感謝申し上げます。多くの方々にもご来場いただきまして本当にありがとうございました。(竹の子祭実行委員長 奥津)

日中活動の一貫として、初めての試みであるアニマルセラピーを開催しました。ご協力頂いたのは、秦野市にある「みかん動物病院」の皆さんで



す。職員も利用者様もわくわくドキドキしながらこの日を迎えました。人間の男性よりも大きくて真っ白なわんちゃんから、膝の上にちょこんと座り癒しをくれるわんちゃんまで、様々な種類のわんちゃんが4頭来ました。

竹の子ケアセンター アニマルセラピー



始めは緊張して表情が硬かった利用者様も、抱っこをしたり餌をあげることで緊張がほぐれ、嬉しそうにされていました。動物病院のスタッフの皆さんや、飼い主の方も利用者様が関わりやすいように接し方を教えてください、とても優しくて温かいひと時になりました。



第2回は今年の3月に実施予定となっています。今からとても楽しみです。(和田)

竹の子学園 クリスマス会



12月25日にクリスマス会とディナーを開催しました。新人職員による出し物や皆さんでクリスマスソングの合唱をし、曲に合わせてマラカスを鳴らしました。その後、ステージからサンタが登場し皆さんにプレゼントを渡すと、目をキラキラとさせながらプレゼントを開けていました。

ディナーでは「ホームパーティー」をテーマとした様々な料理と、デザートにクリスマスケーキを召し上がりました。皆さん笑顔で楽しまれました。(小笠原)



ハッピーマルシェ in パン工房ハッピー

12月15日(土)パン工房ハッピーにてハッピーマルシェを開催いたしました。ご近所さんや地域の子どもたちともっとふれあう機会を作りたい!という思いで行なっているこのマルシェも今回で10回目となりました。

色々な方に出店していただき、お店の外も大盛況!プレゼントのポップコーンをほおぼる人、たき火で焼き芋や焼きマシュマロを楽しむ人、クリスマスリースを作る人、素敵な作品を眺める人...子どもも大人も笑顔がたくさん溢れていました。

また、同時開催で行なったパン作り体験には26名も参加していただき、「苦労して作った焼き立てパンは最高!」という言葉で、先生役の利用者様も嬉しそうでした。皆様、ありがとうございました。

(遠藤)



やわらかくて
きもちいいよ~



焼きたてパン
美味しい!

役員会等開催報告

〔平成三十年年度第三回理事会〕が平成三十年十二月六日、竹の子学園ヴィーホール一階にて開催されました。

はじめに、神奈川県指導・実地監査の指摘事項及び改善結果についての報告があり、審議に入りました。



第3回 理事会の様子



議案第一号「竹の子学園 生活介護 定員増について」、坂井総合施設長より現在の定員五十六名を六十名にしたいとの説明があり、承認されました。

議案第二号「諸規程改定の承認について」、県指導・実地監査の指摘事項についての改定と前号定員変更による運営規程の改定について承認されました。

また、理事長より「経営状況報告」がありました。(磯崎)

文化事業報告

十二月八日(土)今年もマロニエにて第三十七回文化事業アートコンクールが開催され、展示即売、各事業所別の展示等、当日会場には千人近い来場者があり大盛況でした。アート作品展のテーマは「たべもの」で、出展された四十九作品の中から来場者の投票で金賞に輝いたのは、



ほうあんふ
じみのさと
の「さとの
好きな食べ
物」でした。
アイロン
ピース作品で縦百十五センチ・
横百七十二センチと大作で、色
彩も鮮やかで目を見張るもので
した。どの作品にも創意工夫が
みられ、作り手の想いが感じら
れました。ホール会場でのステージ発表
では、ダンス・歌・楽器演奏と楽しい時
間が流れ食事をしながら皆様楽しんで
いました。明星会は、今回は賞を逃して
しまい残念でしたが、来年また皆で頑張
りたいと思います。(嘉山)

退職者

この度、竹の子学園の寺嶋友希さんが退職されました。お疲れ様でした。

ピアサポーターフレンズ 障害児入所施設地域交流会

障害児入所施設の地域交流会に、ピアサポーターフレンズ七名が、地域で生活する先輩として参加しました。その交流会の一場面です。



児童「この質問カード、恥ずかしく
って答えられないよ...」
ピア「僕は大丈夫だよ。」
(先輩として、優しい雰囲気)

障害児入所施設では、「子供たちが、希望する生活を思い描けるまでの生活体験が少ない」ことが、課題の一つとしてあります。そこで、子供たちが将来を考えるきっかけとなるような機会として、地域で生活する当事者の体験談を聞く地域交流会を、光海学園、わらべの杜を中心に開催することになりました。

最初こそ、緊張した雰囲気でしたが、質問カード等のやりとりを通して打ち解け、交流を深めることが出来ました。子供たちからは、また開催して欲しいとの声もあつたそうです。(山田)

ありがとう善意の気持ち

▼寄付

- ・小川 博様
- ・久保寺 莞治様
- ・(有) 近藤 昇商店様
- ・生沼建具店様
- ・読売センター小田原城北様
- ・県立おだわら諏訪の原公園様
- ・清流の郷様
- ・神野 文世様
- ・鈴廣かまぼこ株式会社様

編集後記

寒い日が続きますがもうすぐ暦の上では立春になり、春の訪れが近づいていますね。寒さを乗り越えて、暖かい春を迎えましょう。

さて、平成三十年度の竹の子だよりは、今回で最後となります。一年間ご愛読ありがとうございました。新年度も、読み応えのある広報誌を作成できるよう、頑張つて取り組んでいきたいと思っております。(田邊)

